

本メルマガ配信を行っております<emagazine@opack.jp>は、配信専用アドレスです。

付きのイベントは、O P A C K ホームページ<<https://www.opack.jp/>>内の「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、そちらからもご覧いただけます。

○** I N D E X **○

- 九大学研都市に関する団体・機関からお知らせ -

【1】2025年12月3日・10日・17日・24日（毎週水曜日）開催

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)
「Brown Bag Seminar Series 第214回～第217回」

【2】2025年12月9日（火）～12月25日（木）開催

第62回九州大学附属図書館貴重文物展示
「炭鉱札 - 法的グレーゾーンの「お金」のようなもの - 」

【3】2025年12月11日(木)開催

九州大学人社系協働研究・教育コモンズ オムニバスセッション
知の形成史 #16「ものづくり」を通じて人と社会を関係させる建築の役割

【4】2025年12月17日（水）・18日（木）開催

九州大学 水素先端世界フォーラム&HYDROGENIUSシンポジウム2025

【5】2026年度 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

共同利用研究計画 公募開始のお知らせ

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)

～Brown Bag Seminar Series～

第214回『気候変動下における死亡率と健康の季節性 - 変化する動態をどう捉えるか』

1 第215回『微生物叢から拓くスマート畜産の可能性 - 総合知としてのワンヘルス』

第216回『私たちには感じられないものを機械で検出する』

第217回『「冷たい環境（Chilly Climate）」とは何か～STEM分野に女子・女性が増えない

本当の理由～』

～Brown Bag Seminar Series（2025年12月分）の御案内～

概要

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）では「Brown Bag Seminar Series」を2021年4月から毎週水曜日のランチタイムに開催しております。本学のアジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に知っていただき、異分野研究ネットワークや交流やきっかけの場を提供できればと思います。どなたでも気軽に御参加いただける内容となっております。途中

参加、途中退室もOKです。皆様の御参加をお待ちしております。

<各回共通>

形式 オンライン (Zoom Webinar)
言語 日本語・英語 (同時通訳あり。スライドやポスターも日英2言語対応)
定員 500名
対象者 どなたでも参加可能
参加費 無料
詳細 右記URLをご覧ください <https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>
問い合わせ 九州大学IQ支援室
TEL : 092-802-2605 / E-mail : aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp

【第214回】

タイトル 『気候変動下における死亡率と健康の季節性 - 変化する動態をどう捉えるか』
(*キーワード / 季節性、気温、死亡率、健康、気候変動)
日時 12月3日 (水) 12時10分～12時50分
発表者 マダニヤズリナ 准教授 (長崎大学 热帯医学・グローバルヘルス研究科)
参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_CvQmjYVpQ9ytM4-cYYZ5AQ

【第215回】

タイトル 『微生物叢から拓くスマート畜産の可能性 - 総合知としてのワンヘルス』
(*キーワード / 細菌叢、スマート畜産、環境、ワンヘルス、畜産物生産)
日時 12月10日 (水) 12時10分～12時50分
発表者 森田 康広 准教授 (農学研究院 資源生物科学部門)
参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_M8H7b8DIRIaJgGdaQH50Qw

【第216回】

タイトル 『私たちには感じられないものを機械で検出する』
(*キーワード / 機械学習、多次元検査、データ統合、医療診断、補聴器調整、緑内障スクリーニング)
日時 12月17日 (水) 12時10分～12時50分
発表者 ウォング ウィリー 教授 (システム情報科学研究院 情報学部門)
参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_DUImDHFWSMCAbIsSngayMQ

【第217回】

タイトル 『「冷たい環境 (Chilly Climate)」とは何か～STEM分野に女子・女性が増えない本当の理由～』
(*キーワード / STEM、ジェンダー、進路選択、大学教育、理系人材)
日時 12月24日 (水) 12時10分～12時50分
発表者 河野 銀子 教授 (男女共同参画推進室)
参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_m-B7SX2fQR-RAliZFTd8hQ

・ Brown Bag Seminar Seriesチラシ : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34435_file.pdf

2 第62回九州大学附属図書館貴重文物展示

「炭鉱札 - 法的グレーゾーンの「お金」のようなもの - 」

概要

九州大学附属図書館では、本学が所蔵する貴重資料を広く公開するため、毎年、貴重文物展示を開催しています。今年は、付設記録資料館で保存する歴史資料を中心に公開します。福岡にはかつて筑豊、三池など全国有数の炭鉱があり、北九州の製鉄などとともに日本の産業の基礎を支えてきました。付設記録資料産業経済資料部門では、前身となる九州大学石炭研究資料センター時代から、炭鉱に関するたくさんの資料を収集・保存してきました。今回の展示は、その中から、お金ではない商品券のような不思議な賃金支払い手段である

「炭鉱札」を取り上げます。

日時 展示会：2025年12月9日（火）～12月25日（木）

関連講演会：2025年12月18日（木）

場所 九州大学伊都キャンパス 中央図書館3Fエントランススペース

内容

【関連講演会：12月18日（木）14:50-16:15】

本展示会に関連し、日本経済史・経済史をご専門とする宮地 英敏 准教授（附属図書館付設記録資料館）による講演会「江戸・明治・大正・昭和と炭鉱札 記録資料館の炭鉱札を中心にして」を開催します。講演は、会場での対面参加に加えて、オンライン同時配信も行います。

<申込フォーム>

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/form/202512seminar>

展示会の詳細はこちらからご覧ください。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/106424>

対象者 一般の方、高校生、在学生、教職員、その他

定員 なし

参加費 無料

申込期限 関連講演会は12月15日（月）まで

申込方法 展示会は申込不要。

関連講演会は申込フォームから。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/form/202512seminar>

問い合わせ 九州大学中央図書館利用者サービス課サービス企画係

Tel : 092-802-2480 E-Mail : touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp

・第62回九州大学附属図書館貴重文物展示 チラシ : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34436_file.pdf

3 九州大学人社系協働研究・教育コモンズ オムニバスセッション

知の形成史 #16 「ものづくり」を通じて人と社会を関係させる建築の役割

概要

本シリーズでは、毎回人社系の先生をお呼びして、具体的な研究のお話をうかがいながら、いま一度それぞれの領域の「出来（いでき）はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問い合わせることを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。

第16回目は人間環境学研究院から、末廣香織先生をお呼びして、建築を通じた社会貢献についてお伺いしていきます。

日時 2025年12月11日(木) 14:50-16:20

場所 九州大学伊都キャンパス イーストゾーン E-A-239会議室
及びオンライン会議形式 (Zoom)

内容 「ものづくり」を通じて人と社会を関係させる建築の役割

末廣 香織（九州大学人間環境学研究院 教授）

九州大学BeCAT（環境をテーマにした建築研究教育センター）では、大学での研究成果を

建築のプロジェクトという形で社会実装することに取り組んできました。シミュレーション技術を用いた建築のデザイン・施工、リサイクル素材の開発、ものづくりを通じたまちづくりイベントなどのプロジェクトを実施しています。熊本地震を契機に立ち上げられたKASEIプロジェクト（九州建築学生仮設住宅環境改善）では、現場での「ものづくり」と同時に「ことづくり」にも取り組んできました。建築という分野において、建ち上がってくるハードウェアが重要なことはもちろんですが、それと同様に建築するという作業には、人と社会を結びつける役割があります。プロジェクトの実例を題材にしながら、現代社会では見過ごされがちな建築の役割について議論したいと思います。

[聞き手] 福田 嶽（九州大学経済学研究院）
[司会] 蝙沼 芽衣（九州大学人文科学研究院）

対象者 どなたでも参加可能です。

定員 なし（対面の場合は50人）

参加費 無料

申込期限 2025年12月9日（火）

申込方法 事前申し込み

下記URLへアクセスのうえ、事前参加申込をお願いします。

https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_36.html

問い合わせ 九州大学人社系協働研究・教育コモンズ

<https://commons.kyushu-u.ac.jp/>

E-mail : enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

・知の形成史 #16 チラシ : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34437_file.pdf

4 「九州大学 水素先端世界フォーラム & HYDROGENIUSシンポジウム2025」 開催のご案内

詳細はホームページをご覧ください。

ホームページ : <https://hydrogenius.kyushu-u.ac.jp/activities/forum2025/ci/index.html>

日 時: 2025年12月17日（水）、18日（木）

会 場: 九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂

主 催: 九州大学水素材料先端科学研究所

スケジュール :

水素先端世界フォーラム 12月17日（水）

10:00-14:30 Plenary Session

14:30-16:30 Kyushu University Hydrogen Research Overview

16:30-18:00 Poster Session

HYDROGENIUSシンポジウム2025 12月18日（木）

9:00-17:00 HYDROGENIUS

Metallic Material

Polymer

Tribology

Thermophysical Properties

参加費 : 無料

参加登録：下記ホームページよりお申し込みください
ホームページ <https://hydrogenius.kyushu-u.ac.jp/activities/forum2025/ci/index.html>

問い合わせ先：九州大学 水素材材料先端科学研究所（HYDROGENIUS）
E-mail kikaku@hydrogenius.kyushu-u.ac.jp

- ・IHEDF_HYDROGENIUS2025_Program : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34438_file.pdf

5 2026年度 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 共同利用研究計画 公募開始のお知らせ

概要

本研究所は日本初の産業数学の研究所であり、多様な数学研究に基礎を置く、新しい产学連携の拠点として2011年4月に附置研究所として設立されました。2013年4月には文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点「産業数学の先進的・基礎的共同研究拠点」に認定され、理念である「マス・フォア・インダストリ」の具現化を推進しているところです。その事業の一環として、本研究所は2026年度の共同利用研究を下記の通り公募します。多数応募いただきますようお願い申し上げます。
詳細は下記及びwebページをご覧下さい。<https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp/>

詳細

1. 公募する研究種別

- (1) プロジェクト研究
- (2) 国際プロジェクト研究
- (3) 女性研究者活躍支援研究
- (4) 若手・学生研究
- (5) 一般研究

2. 公募する研究種目

- (1) 研究集会(I)
- (2) 研究集会(II)
- (3) 短期共同研究
- (4) 短期研究員

3. 応募方法

(1) 応募資格

大学・大学院・短期大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国公立試験研究機関、独立行政法人および企業に所属する研究者、および大学院生

(2) 応募方法

本拠点のウェブページから電子申請システムを利用して共同利用研究計画提案書を作成し、応募してください。<https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp/>

(3) 応募締切日

2026年1月29日（木）

4. 選考方法と採否の連絡

学外有識者と学内教員（本研究所所員を含む）8名ずつで構成される共同利用・共同研究委員会において審査の上、採否を決定します。プロジェクト研究はプロジェクト代表者が審査し、共同利用・共同研究委員会で採否を決定します。国際プロジェクト研究は国際プロジェクト委員会で審査の上、採否を決定します。選考の際の評価によって、採択額を傾斜配分することがあります。委員の名簿は本拠点のウェブページをご覧ください。

問い合わせ

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所
共同利用・共同研究拠点事務室
〒819-0395 福岡市西区元岡744
Tel : 092-802-4408
E-mail: imikyoten@jimu.kyushu-u.ac.jp

<https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp>

-
- ・2026年度IMI共同利用研究公募要領 チラシ : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34439_file.pdf
 - ・2026年度IMI共同利用研究公募要領 : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34440_file.pdf
 - ・FY2026 _Application Procedures for Grant for International Project Research : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34441_file.pdf

-----事務局からのお願い&お知らせ-----

九大学研都市メールマガジン会員募集中

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。

産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に关心のある方に是非お知らせください。

詳細

http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf

新規のご登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメールマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。

メールマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。

info@opack.jp